

2017年11月8日/図書館総合展フォーラム第5会場（パシフィコ横浜）

大学学習資源コンソーシアム（CLR）フォーラム

「高等教育における著作物利用環境整備に向けて」

参加者アンケート

当日参加者：155名 アンケート回収数：64名

大学学習資源コンソーシアム（CLR）では、大学関係者が、学習、教育における電子的学習資源の製作および共有化を促進させる体制の構築と著作物の円滑な利用環境を整備し、我が国の高等教育・学術研究の発展に寄与することを目的とし、高等教育における著作物の教育目的利用にかかる関係団体等との調整、必要となるシステム基盤の検討などに取り組んでいきます。今後の活動のために、本日のフォーラムに参加されたご意見・ご感想をお寄せください。

1. 本日のフォーラムで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

- ・私は学著協の DDS 許諾について ILL 実務で個別に調べるときくらいしか今回のトピックとの接点がなかったもので、新しいことだらけでした。
- ・法改正後を見すえて、ライセンス、保証金制度のことがわかり、大変参考になった。
- ・文献利用に関しての現状がわかった。
- ・著作権法改正後の展望についてさまざまな立場からの意見をきくことができ、なんとなくですが「しくみ」の部分が理解できたような気がしています。
- ・保障金の話は初耳だったので色々な方のご意見がきけておもしろかったです。
- ・公衆送信、著作権の権利処理について多くの課題があることがわかった。
- ・世界との著作権の考え方、制度の差、これから法制度の改正で払う金額の話、とても参考になりました。
- ・重要なながらも、普段は置きざりにしている著作権等について、改めてよく考える機会だった。
- ・著作権法改正に向けての動きがよくわかりました。環境整備がよい方向、あまり複雑ではない方向に進んでいくとよいです。
- ・瀬尾先生の「今年5才の子供が～～」というお話は、驚きました。
- ・恥ずかしながら著作物の学校での利用については「教育目的だから」で思考停止していたように思います。テクノロジーの進化で教材作成もその提供も形を変え、新しいルールが必要になり、作られつつあることを知りました。
- ・日本と世界の著作物利用への取り組みのギャップは大変参考になりました。
- ・著作権法改正後に考えられている仕組みについて、知識がなかったので勉強になりました。
- ・改正後について考えるきっかけになりました。
- ・だまって使うのはよくない。著作権を知る上で大切なことだと改めて感じました。幅をもって決めているところの大切さを感じました。細かく決めると何もできなくなるので、そこを考えて法律が決められていると思いました。
- ・思ったものとことなっていた。
- ・著作権者が明らかでない資料の著作権処理について、利用者と権利者双方からのメリット、デメリットを解説いただき、とてもわかりやすかった。
- ・教育現場での著作権改正
- ・デジタル教科書使用の著作権、異時公衆送信、著作権の集中管理
- ・著作権団体の日本国内での違い。課題とされたテーマがよくわかった。
- ・2035年の問題は身にしみた。
- ・演題に関する現在の流れ、動き
- ・複製使用が単純複製から複雑な利用にうつりつつあること。権利制限が主流になりつつあることなど。
- ・教育現場における著作権の問題点

- ・著作物の学校での利用について、まさに今検討が進められ、変わっていくのだなとわかりました。
- ・将来の教育について、図書館は情報センターとしての役割を担っているという話を聞き、今まで以上に頑張っていかなければいけないと自覚した。
- ・新しい時代が到来していることが分かった。
- ・管理団体に徴収する料金が、不確定であるけれども、学生 1 人あたり 1,000 円かかっても、世界的には妥当な額であると伺ったこと。驚きました。
- ・新しい形態のメディアに対応した著作権制度の整備が必要
- ・著作権法の改正予定内容自体良く分かっていなかったもので、今日のフォーラムはほぼ全て初耳でしたが、大変内容が分かりやすく、概要を把握することができました。
- ・大学の授業での公衆送信権の権利制限の検討が進んでいること。
- ・著作権法改正後のイメージがつかめた。
- ・AI と教育の話は本筋とははずれますが興味深かったです。
- ・著作権改正に向けた準備がおこなわれていること。集中管理をして補償金請求権を規定するのが better だということ。
- ・日本において著作権（著作物の利用方法、協会）があいまいだということがわかった。
- ・法改正のポイントと、自分が思っている以上に著作権の世界・それをとりまく環境が進んでいること。
- ・著作権法改正後に、教育現場に残される問題や課題について。異時公衆送信の範囲について。
- ・未だ検討途中ということ
- ・教育現場向けフォーラムだけ空気がちがう。かたい。
- ・世界の著作物利用の動向について、概要、さわり？をお聞きでき、その上で日本の補償金制度のことを知ることができてよかったです。
- ・様々なお立場からのご意見が聞けてよかったです。
- ・瀬尾さんの話に、時代が変わる、というショックを受けました。
- ・これまで著作権と AI、IoT を結びつけていなかったもので、目からウロコでした。
- ・これからの教育は今までと変わっていかなければいけないと感じました。
- ・保証金の新制度の模索に目からウロコ、興味をひかれました。

2. 本日のフォーラムで、よくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。

- ・まだ頭の中で整理しきれいていませんので、今後も考えていきたいと思います。
- ・初めて聞いたことが多く、整理できていません。
- ・大学図書館はどう動くか、考えていかなければならないと思いました。
- ・異時送信でほんとうに「正しいかたち」で権利者に分配されるのでしょうか。①どのように分配されるのか、その具体例も聞きたかったです。②大学の現場として登壇のお二人の先生と司会者の先生の生の声をお聞きしたかったです。
- ・危機感を覚えました。もっと勉強したいと思います。
- ・教員と学生間だけでなく、現在の学修スタイルでは、学生間のやり取りも多くあります。例えば教員から与えられた教材に著作物が含まれ、それを LINE など共有した場合は異時公衆送信に含まれるのでしょうか。それも含めてのライセンス、補償金なのでしょうか。
- ・色々なはなしをされていたけれど、それぞれのつながりがわかりませんでした。こちらの予備知識不足もございですが。
- ・やはり、内容が内容だけに難しかったです。知るきっかけになったので、勉強になりました。
- ・実際に改正されるのかまだわからないのでイメージがかたまりにくいところがありました。

- ・質問の時間に小中高と大学では教材の用い方が異なるという話があったが、大学の教育実習等での教材を用いる場合はどうなるのか。
- ・この場に出版社が不在なのが議論を難しくしている。
- ・義務教育に関わるものとして、小中教育のも、もっと語ってほしかった。
- ・日本でのデジタル著作物についての今後の扱い。送信、共有、複製の質の違い。補償金とライセンスの違い。
- ・「教育現場」というくくりが大きすぎて個別の報告や質疑で議論されているときの前提がそれぞれにどこにあるかわかりづらかった。
- ・著作権の今後
- ・徴収制度や枠組みがまだ確定していないため、情報が定まらず、きいていても、すっきりしない点が多かった。確定していないからこそ、質疑応答で討論できるのかもしれないが、よくわからなかった。
- ・オーファンワークス処理について
- ・学生 1 人あたり 1,000 円はなかなか難しいと思います。支払える団体と支払えない団体で格差が広がってしまうのでは…と心配です。
- ・補償金
- ・オーファンワークス
- ・トークは言いたいことがつかめませんでした。むずかしい。
- ・ボーンデジタルな資料とか、もっと色々な著作物
- ・基本的な著作権法改正予定の内容について（勉強不足ですいません）
- ・大学の教育に関わるが多かったので、小中学校の教育についてももう少しかかってみたかったです。
- ・最後の出版社の方の質問は的を得ているように感じました。

3. 今後も大学学習資源コンソーシアム（CLR）ではセミナーやシンポジウムを企画していきます。そこで、取り上げてほしいテーマや講師があれば、お書きください。

- ・著作権に関して、現場での事例のことをおきかせいただければ。
- ・今後も著作権に関するテーマがあれば参加させていただきたいです。
- ・展望も勉強になりますが、実際現場でおこる小さな問題のようなテーマでもお話をうかがいたいです。
- ・著作権は権利者と利用者の間になくってはならないものなので、これから先もどのようにみすえないといけないのか、図書館として教育現場の中で考えてなくてはならないと感じているのでそのようなフォーラムがあるとうれしいです。
- ・ガイドラインの内容
- ・いろいろ面白い企画を楽しみにしています。
- ・デジタル教材（教科書でなく）の権利制限について
- ・ベテランのレファレンスさんのノウハウと経験、スキルについて
- ・音楽の著作権の展望

4. 本日のフォーラムの内容について等、その他、自由にご意見をお書きください。

- ・私のような一介の図書館員が瀬尾先生のような立場のかたのお話をうかがう機会自体めったにないので、大変貴重な経験でした。それぞれの方の率直な意見を伺え、勉強になりました。
- ・今村先生、瀬尾さんのお話をもう少しじっくり聞いてみたかったです。
- ・とても難しかったです。現状が聞けて良かったです。
- ・現状の限界と将来的な展望。どのような形になっていくのか、情報を求めているかなければならないと思いました。どうもありがとうございました。

- ・現実に著作権について制限しきれていないというのが正直なところで、複雑なきもちです。スマートフォンで(本の)写真をとっている学生を注意すべきなのか?など、現場では悩ましいです。
- ・著作権、難しいです。でも避けられない問題ですね。
- ・自分の勉強不足を強く感じた。
- ・金額に関しては、やはりいきなり1人1,000円×人数だと、大学によっては予算編成とか色々…思うところ(高いっ!とか)があるような気がしました。
- ・図書館総合展で、図書館の関係者が多くくるであろうフォーラムに、またタイトルから期待される内容だとは思えない。先生と権利者の勉強会。期待はずれです。でも隅谷先生のお話はよかったです。
- ・難しいテーマでしたが、知るきっかけをあたえて下さり、ありがとうございました。今村先生のレジュメを印刷して、ふりかえりたいと思いました。
- ・今村先生のお話についても書き込み等をしながら理解したいので、プリントでいただくと大変ありがたいです。
- ・時代が急速に変化していく中で、著作物を扱う図書館として考えていかななくてはいけないと感じた。使う側との意思疎通が大切だと感じた。
- ・制度の運用までに相当の時間と議論が必要と判った。
- ・大学の場合、授業以外でも利用する著作物が多いが、余り(というか、ほとんど)意識していない人が多い。著作権法改正も含めて、今後の動向にも注意したい。
- ・勉強になりました。AIが世界を変える。
- ・瀬尾先生は具体的に非常に熱意が伝わった。
- ・出版社側からの補償金にかんしての意見をさらに聞いてみたかったです。
- ・違う立場の方々のお話が聞けてとても有意義でした。
- ・著作権の権利者側、利用者側の多様な意見を聞く機会が今まであまりありませんでした。法律を知るだけでなくこうして実際の話聞くのが大事だと思いました。貴重な機会をありがとうございました。
- ・可能であれば、スライド等をWeb上などで公開していただけたらうれしいです。
- ・著作権法改正の将来像がぼんやりわかったが、図書館員ではなく、大学の教務が知るべき内容だと思えた。考えながら耳目を鋭く情報を集めたいと思う。
- ・参考になりました!
- ・知識が全くなくお話を聞かせていただき、とても興味深かった。瀬尾さんの話は目からうろこでした。わかりやすく話していただいたのが大変良かった。
- ・当初思っていた以上の収穫があった。ただ、整理するには時間がかかりますが…。
- ・世界的な著作権の動向が分かり良かった。又、AIの進歩と教育における図書館の必要性等が分かり良かった。
- ・難しい問題ではありますが、色々な考えや計画を知ることができて有意義でした。
- ・法改正は必ず行われて、時代に流されてゆくということを感じた。
- ・ありがとうございました。
- ・質疑応答で率直な意見を聞くことができて良かったです。

5. 次の(1)、(2)について、該当するものに○をつけてください。

(1) a. 大学学習資源コンソーシアム(CLR)加盟機関からの参加(3) b. CLRには未加盟(37)

○印なし(24)

(2) a. 大学教員(0) b. 大学職員(図書館職員を除く)(3) c. 大学図書館職員(41) d. 出版関係(5)

e. 大学図書館以外の図書館職員(7) f. 学生(0) g. その他(7) ○印なし(1)

6. このフォーラムを何で知りましたか？

- a. Web(大学学習資源コンソーシアム) (0) b. Web (図書館総合展) (23) c. 図書館総合展チラシ(44)
d. その他(1)

ご協力ありがとうございました。